



御修復のあゆみ ↳ 伝承された先達の願い

阿弥陀堂の瓦耐久試験を実施



荷重を加える特殊機械に設置された現在の阿弥陀堂平瓦

先月号にて既報のとおり、阿弥陀堂屋根瓦の試作品が完成し、耐久試験を実施しました。

新調瓦の製作については、明治瓦よりも耐久性のある瓦をつくる必要があるため、まず明治瓦を用いて荷重試験や吸水試験、凍害試験が行われました。

阿弥陀堂は御影堂とともに一八九五（明治二十八）年に再建されているため、御影堂同様に「凍害」「割れ」「欠け」「虫喰い（白華現象）」の破損状況が確認され、特に凍害については、非常に多く見られました。凍害は、瓦の内部に水が入り、それが凍ることによってひび割れや剥落を生

阿弥陀堂の試作瓦



じるといふ現象です。その要因には、一日の気温差が大きい場合や冬場の夜間の冷え込みなどによって起こる可能性が高いと考えられています。また、京都は盆地のため、冬夏で寒暖の差が大きくなることから、凍害の